

2023年2月

UPOV PRISMA について

1. 季節の写真



こごみ、たらの芽など、ほろ苦い春野菜が美味しい季節になりました。写真は先日いただいた菜の花のお浸しです。

食用の菜花（なばな）には日本在来種と西洋種があります。在来種は葉が柔らかく黄緑色であり、主に花茎、葉、つぼみを食用にします。一方、西洋種では葉は厚く濃緑色をしており、主に花茎と葉を食用にします。

※参照：農林水産省 Web ページ「消費者の部屋」

2. UPOV PRISMA について

「UPOV PRISMA」は、UPOV（植物新品種保護国際同盟）が提供する、オンラインの品種登録出願システムです（<https://www.upov.int/upovprisma/en/index.html>）。このシステムを使用することにより、UPOV加盟国のうち、UPOV PRISMAに参加している国にオンラインで出願することが可能です。

現在、UPOV加盟国のうち、欧州連合（CPVO）を含む全70か国以上のUPOV加盟国がUPOV PRISMAに参加しています。

なお、2023年2月現在の時点では、UPOV PRISMAは他国から日本への出願にはまだ利用ができません。また、参加国の中でも対象植物が一部の植物に限

定されている国もあります。

このUPOV PRISMAの電子出願システムでは、出願様式、使用言語、手続方法が異なる各国への出願を容易化することができます。例えば、ある品種について、オンラインで入力したある国への出願用データを、別の国への出願に利用することなどが可能です。

このようにUPOV PRISMAは、複数の国への出願ならびにその管理を効率化、簡便化できるツールとなっており、このシステムを活用した出願は今後増えていくことが予想されます。

UPOV PRISMA

- ・オンラインの出願システム
- ・70か国以上をカバーしている
- ・表示言語の選択が可能
- ・事前定義された項目は必要な言語に自動翻訳される
- ・未譲渡性と優先権に関する管理ができる
- ・ある出願データを他の出願へコピー可能
- ・各国の出願手続に関する情報が提供されている
- ・ダッシュボードから、すべての出願情報の確認、管理が可能

以 上